

児童養護施設退所者への新生活応援金給付事業



【目的】

- ◆児童養護施設を巣立った若者が、社会的自立に向け安定した生活を継続して送れるよう、社会全体で支えていく仕組みづくりの一つとして、児童養護施設退所者への新生活応援金事業を実施する。

【内容】

- ◆様々な困難を抱えハンディキャップを負っている若者たちと、事業を通じて社会に貢献したいと考える企業をつなぐことで、児童養護施設から退所（自立）を迎える若者たちの未来を拓くとともに、応援する。
- ◆今後、社会全体でこうした困難を抱える若者たちを支援する取り組みが継続し、さらに充実するよう、**企業等から寄附を募り、1人あたり20万円を給付する。**

【寄附対象事業費】

1,000千円

【期間】


R6.4月～

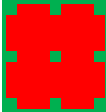
児童養護施設とは

保護者のない児童や虐待を受けている児童らを養護し
自立支援や退所後のフォローを行う施設

対象となる児童

両親の死去や、環境不良などによって
保護者の監護を受けられない
1歳以上18歳未満の児童



【事業の目的】

都市公園は、良好な都市景観の形成、都市の防災性の向上、豊かな地域づくりに資する交流の場など多様な機能を有する都市の根幹的な施設です。さらなる魅力創出に向け、**老朽化が進行した施設の改修**や**低未利用施設の更新**、多様化する**利用者ニーズへの対応**など、誰もが安全、安心して利用することができる公園へと再編します。

【事業の内容】

(1) 広場の整備

- ▶使われなくなった徒渉池などの**低未利用施設**を、地域活動の場や避難場所として利用できる**広場へと再編**します。
- ▶バリアフリーに対応した**歩きやすい園路を整備**します。

(2) 老朽化した施設の更新

- ▶老朽化した遊具を、**子どもたちが安全、安心、楽しく遊ぶことのできる遊具へと更新**します。

【寄附対象事業費】 3,200千円

【 期 間 】 R6.4月～R7.3月



整備事例（海用畑公園：R4.12月完成）



整備事例（西荘公園：R5.3月完成）



通学路安全対策事業



【事業の目的】

子ども達が安心して通学できるよう地域・学校・PTA・教育委員会・警察・交通安全協会等との協働により、安全対策を実施し、将来を担う子どもたちをはじめ、すべての方々の安全・安心な道路空間の実現につなげる。

【事業の内容】

- ▶ 通学児童の安全確保のため、**車両速度の抑制、歩行空間の確保、ドライバーの視認性向上**を目的とする工事を実施
- ▶ 地域の交通事情に精通した方々が参画する通学路安全対策ワークショップを行いビッグデータやAI解析を活用し、潜在的な危険箇所を見える化した地図をもとにエビデンスに基づいた効率的・効果的な整備を実施

【寄附対象事業費】 工事費93,000千円

【期間】 R6.4月～R7.3月

【通学路安全対策ワークショップ】



【危険箇所「見える化」地図】

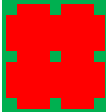


【(対策例) 待場整備】



【(対策例) 交差点カラー舗装】





【事業の目的】

本部キャンパスの研究室の狭隘化の解消、新カリキュラムで必要となるS G D (Small Group Discussion) 等に対応した少人数教室等の整備、三田洞キャンパスの老朽化に対応するため、本部キャンパスの近接地に新キャンパスを整備します。

【事業の内容】

(1) キャンパス整備予定地の用地取得

▶ 令和6年度末までに本部キャンパス西側の整備予定地(約21,000㎡)の取得を目指します。

(2) 基本設計等の実施

▶ 新キャンパスで整備する校舎等の設計等を実施します。

(3) 要求水準書等の作成

▶ 令和7年度以降に発注する予定の工事に必要な要求水準書及び事業者選定支援等業務を実施します。



【寄附対象事業費】

920,391千円(令和6年度事業費分)

【期間】

R6.4月～R7.3月(令和6年度事業費分)



【事業の目的】

多様な学びに応じた教育環境の向上と老朽化対策の一体的整備を実現し、児童生徒の学びと成長を保障する「未来の学校」の第一歩とする。

【事業の内容】

(1) 個別最適な学び・協働的な学びの一体的な推進

- ▶ 普通教室・特別支援教室の刷新
(柔軟に対応する可変性のある教室空間、どこでも学べる空間)
- ▶ 探究の部屋の設置
(目的に応じて柔軟に変えられるラーニングスペース)

(2) 異年齢の交流を最大限に生かした学び

- ▶ 集いの広場、コミュニティルーム／ランチルームの設置
(多様なコミュニケーション、食事を通しての異年齢交流の場)

(3) 教職員のウェルビーイングを高まる執務環境

- ▶ 職員室の再整備
(児童生徒の支援・情報共有のためのコミュニケーションがとりやすい環境)

【寄附対象事業費】

539,000千円

【期間】

R6.4月～R7.3月



Gifu city

「ぎふMIRAI's」推進事業



岐阜市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

【事業の目的】

「岐阜市全体」を教室、「岐阜市の人・もの・こと」すべてを先生として、リアルな探究学習を行う。岐阜市について深く学び、まちで活躍するさまざまな人の生き方・考え方に触れることで、自分の生き方をつくり出す姿を目指す。

将来どこで生きようとも、自分の原点である岐阜市を心の拠り所として、グローバルな視野で活躍できる人材を育てる。



【事業の内容】

(1) 「ぎふMIRAI'sチャンネル」の展開

▶岐阜市のすべての子に出会わせたい人を講師に招き、全小・中学校をオンラインでつないだ一斉授業を行う。

(2) ぎふMIRAI'sポータルサイトの構築

▶タブレット端末から岐阜市についての情報を閲覧したり、学びをアウトプットしたりする場を構築する。

(3) 直接的・体験的に学ぶ機会の創出

▶現地に出向いたり、市内で活躍する人物と交流したりすることで、岐阜市について深く学び、人の生き方に触れる。

ぎふMIRAI's「探究」の方程式



ぎふMIRAI'sチャンネル (YouTube)



【寄附対象事業費】

14,918千円

【期間】

R6.4月～R7.3月



校内フリースペース整備事業



【事業の目的】

不登校児童生徒が**自分らしく学び、将来の自立**を目指せるように、市内中学校に「**校内フリースペース**」を整備し、草潤中学校のノウハウを生かした支援体制を市内学校へ展開することで、**誰一人取り残さない**不登校児童生徒への支援を目指す。令和5年度は各ブロックに1校整備（合計5校）、**令和6年度はさらに5校に整備を拡充していく（合計10校）**。

【事業の内容】

個別スペースや協働スペースなど、**心の安定**を保ちながら過ごすことができる環境を整備し、**自分のペースでの学習**や、**様々な人とのふれあい**を通して、**将来の社会的自立**に向けた学びを支援する。



明るく、楽しい雰囲気
の空間

個別に学習したり、集
団で学習したりするこ
とができる机や椅子

様々な空間をつくりだ
すパーテーション

リラックスできるソ
ファや個別ブース

先生とじっくり話した
り学習したりできるよ
うな相談スペース

【総事業費】 4,000千円

【事業期間】 R6.4月～R7.3月





Gifu city

ぎふ灯り物語 2025



岐阜市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

【事業の目的】

鶺鴒オフシーズンにおける魅力的なナイトタイムエコノミーとして、**岐阜和傘・岐阜提灯**といった伝統的工芸品を活用した「**岐阜市ならではの**」のイベントを実施することにより、岐阜市への誘客促進を図る。

【事業の内容】

イベント【ぎふ灯り物語 2025】の実施

- ▶岐阜公園一帯・正法寺等において、**岐阜和傘・岐阜提灯**を用いた「**岐阜市ならではの**」の**ライトアップ展示**を行うもの※写真①②
- ▶令和2年度に初開催し、令和5年度（4回目）までに延べ**約2.7万人**が来場
- ▶**市民参画型**のイベントとしても実績あり※写真③
(市内の子どもたちが製作した竹灯籠の同時展示など)



【寄附対象事業費】
1,000千円

【イベント開催時期】
R7.1月（予定）

過去開催時のイベント
PR動画はこちらから！



<R2年度>



<R3年度>



<R4年度>



<R5年度>



ワークダイバーシティ



【事業の目的】

すべての人に働くことを通じて居場所と出番をつくること人々の幸せに繋がるという考えのもと「ワークダイバーシティ」を進め、それぞれのライフスタイルや特性を踏まえ、多様な働き方ができることによって幸せを感じられる社会を実現する。

【事業の内容】

(1) 岐阜市ワークダイバーシティ推進事業

▶若者・学生の就労支援事業

無業不安定な状況にあり孤立化する恐れのある若者・学生の就労を支援

▶WORK! DIVERSITY実証化モデル事業

ひきこもりやニートなど既存の障がい福祉制度の枠組みでは支援の対象とならない働きづらさを抱える方に対し、就労移行支援事業所等の就労支援サービスを提供

▶岐阜市ワークダイバーシティ&働きがい改革推進事業

岐阜市ワークダイバーシティ&働きがい改革推進協議体参加企業の経営者等による取組事例を含めた企業説明会及び交流会を開催



【寄附対象事業費】

9,371千円

【期間】

R6.4月～R7.3月



【WORK! DIVERSITY実証化モデル事業】



Gifu city

シェアサイクル事業



岐阜市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

【事業の目的】

本市の観光振興に資する二次交通手段を確立させ、本市へのさらなる誘客を図り、観光客のみならず、市民も利用しやすい日常の足としての利用促進を図る。

【事業の内容】

市内に設置するサイクルポート間で自由に貸出・返却可能なシェアサイクルとアプリからの乗車手続き、キャッシュレス決済を令和4年度から導入しており、本市を訪れる観光客の周遊促進に役立てるとともに、短時間から利用できる料金設定により市民にとっても一層利用しやすい環境を整えるなど、利用者の利便性向上を図っていく。

ポート数：25 自転車：130台 会員登録者数：12,139人
利用回数(R5年度)：22,672回



専用アプリ
QRコード

【寄附対象事業費】
11,768千円

【期間】
R6.4月～R7.3月



Gifu city

メタバース岐阜城プロジェクト

—戦国岐阜城仮想再現計画—



岐阜市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

【事業の目的】

信長公時代の岐阜城の様子を最新技術と調査成果に基づき仮想空間上にリアルに再現し、ウェブサイトで公開。戦国時代の岐阜城を視覚化することにより、岐阜城の魅力を分かりやすく伝えるとともに、「本物を見てみたい」という現地訪問のきっかけをつくり、観光誘客を促進する。



【事業の内容】

(1) メタバースサイトの公開

▶自由操作

(メタバース内のキャラクターが岐阜城・日本遺産を解説)

▶ミニゲーム

(遊びながら岐阜城・日本遺産を楽しく理解)

▶高精細3DCGの一部をオープンデータとして公開

(2) 現地案内サイトの公開

▶現地での利用

(スマホ等でQRコード読込、ガイドの補助ツール)

▶自宅や学校での利用

(WEB上からアクセス、現地訪問の前後学習)

(3) 体験展示等への活用

▶博物館等の施設における映像や展示の素材として、高精細3DCGを活用



山麓部CG (山上部は現在制作中)



システム開発 (テスト操作)

【寄附対象事業費】

13,038千円

【期間】

R6.4月～R7.3月



Gifu city

史跡岐阜城跡整備事業



岐阜市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

【目的】

岐阜城跡の魅力を全国に発信するとともに、本物志向のまちづくりを推進する。

【内容】

(1) 山上部の発掘調査

- ▶ 斎藤道三公、織田信長公が築き上げた城の真の姿を解明するため、天守周辺や門などの調査を推進する。



(2) 山上部の城郭景観の復元

- ▶ 石垣をはじめとする遺構の保全に影響しているとみられる樹木を伐採し、来訪者が見学できるよう山城らしい景観を復元する。



山上部整備イメージ図

(3) 山麓居館庭園整備

- ▶ 岩盤を流れる滝、水をたたえた池などを持つ庭園を復元し、来訪者が「信長公のおもてなし」を追体験できるような空間を整備する。



山麓部整備イメージ図

【寄附対象事業費】

46,697千円

【期間】

R6.4月～R7.3月



リノベーションまちづくり事業



【事業の目的】

中心市街地活性化基本計画の方針である「まちの魅力となるコンテンツの創出」を目指し、中心市街地の核である柳ヶ瀬を中心としたエリアの価値向上を図る。

【事業の内容】

- ▶ まちの新旧の様々な資源（お店、人、空間、歴史、文化など）が持つ魅力を活かしたプログラム（体験など）を提供する「柳ヶ瀬日常ニナーレ」を開催する。
- ▶ 「柳ヶ瀬日常ニナーレ」の企画・運営に携わることを通して、まちへ関わる機会を設け、まちづくりの担い手の育成・裾野拡大を図る。



「リノベーションまちづくり」とは、まちに増える空き家や空きビル、使用していない公共的な空間といった遊休不動産と、人や文化、産業などの潜在的な地域資源を組み合わせ、民間主体の取り組みにより、まちの活性化や課題解決につなげていくものです。

【寄附対象事業費】

17,481千円

【期間】

R6.4月～R7.3月



「バスまちば」事業



【事業の目的】

バス停付近の店内において、バス利用者が快適にバスを待つことができる「バスまちば」を設置することで、バス待ち環境及び利便性を向上させ、バス利用の促進を図ります。

【事業の内容】

店内にバス接近情報を表示するデジタルサイネージ等を設置し、快適にバスを待つことができる**中部地方初の取り組み**を令和4年から開始しており、令和5年12月には、新たに6店舗加え、市内12店舗となりました。

利用者の方からは「バスの時間を見ながら食事することができる」、**店舗の方**からは「売り上げの増加に繋がっている」など、**大変ご好評**をいただいております、令和6年度以降も**対象店舗を順次拡大**していきます。

事業スキーム



店内の様子



設置箇所

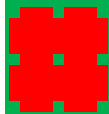


【寄附対象事業費】

2,500千円

【期間】

R6.4月～R7.3月



スマートシティぎふ推進事業（公共交通への自動運転技術の導入）



Gifu city

岐阜市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

【事業の目的】

出かけて健康になるまち「健幸都市ぎふ」の実現を目指すスマートシティぎふ推進の施策の一つとして、持続可能な公共交通ネットワークの構築を目指し、**公共交通への自動運転技術の導入に向けた取り組みを推進**しています。

【事業の内容】

令和5年11月から、中心市街地では**全国初**となる**自動運転バス「GIFU HEART BUS」の5年間の継続運行をスタート**しました。中心市街地の幹線道路を走行する中心部ルートと、川原町や岐阜公園などの観光地を周遊する岐阜公園ルートの2つのルートを運行しており、多くの方にご乗車いただいています。

令和6年度以降も、信号を自動で判断する信号協調などの走行環境を整備し「**技術を検証**」するとともに、路上駐車をしないなど、道路を利用される皆様からご理解とご配慮をいただく「**社会受容性の向上**」を図りながら、**レベル4自動運転の実現**を目指します。

【寄附対象事業費】 100,000千円

【期間】 R6.4月～R7.3月





Gifu city

岐阜駅北中央東・中央西地区第一種市街地再開発事業



岐阜市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

【事業の目的】

岐阜都市圏の玄関口である岐阜駅北中央東地区・中央西地区において、老朽化した建築物を建て替え、新たな商業施設・業務施設・住宅や広場状空地の整備等、土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図るため、両地区の市街地再開発事業を推進し、より魅力的な都市機能を導入、「ツインタワーを核」とした駅周辺の魅力や価値の向上の実現を目指します。

【事業の内容】

▶令和6年度
市街地再開発事業の重要な手続きとなる権利変換計画の認可を経て建物補償を行います。

▶今後の予定
令和7年度 除却・建築工事着手
令和10年度 完成

※経緯

- 令和2年度 都市計画決定
- 令和3年度 事業参加者の決定
- 令和4年度 都市計画変更、組合設立
- 令和5年度 実施設計、権利変換計画作成

事業参加者

積水ハウス(東のみ)、野村不動産、清水建設、都市研究所スペース、共栄ライフパートナーズ

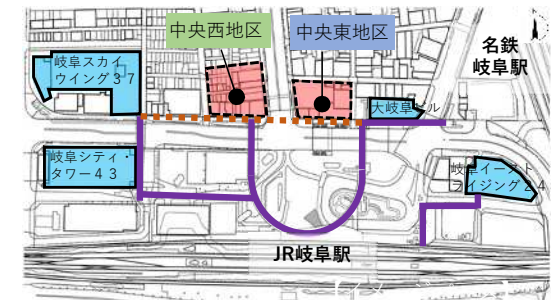
【令和6年度寄附対象事業費】

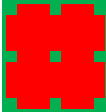
61,600千円

事業プランの概要 (組合設立時点)

中央東地区	
敷地面積	約2,700㎡
延べ面積	約39,000㎡
容積率	950%
階数	5~34階 分譲住宅 3~4階 業務施設 1~2階 商業施設

中央西地区	
敷地面積	約3,240㎡
延べ面積	約44,700㎡
容積率	950%
階数	5~34階 分譲住宅 3~4階 業務施設 1~2階 商業施設





名鉄名古屋本線鉄道高架化事業



【事業の目的】

名鉄名古屋本線の名鉄岐阜駅と岐南駅間を高架化し、13箇所の踏切を除却することにより、**渋滞や事故の解消**などに加え、鉄道により分断された**地域の一体化を促進**する極めて重要な事業です。また、あわせて実施する加納・茶所統合駅周辺土地区画整理事業のほか、交差する道路の整備、さらには、一級河川境川の改修など、**様々な関連事業が展開し、地域のまちづくりが大きく進展**することが期待されます。

【事業の内容】

名鉄名古屋本線鉄道高架化事業及び加納・茶所統合駅周辺土地区画整理事業において、令和5年度より事業の鍵となる用地取得を進めており、引き続き、県と連携し、**用地取得**および**鉄道詳細設計**等を実施します。

名鉄名古屋本線 鉄道高架化事業

(事業期間：令和4～18年度)

【令和6年度寄附対象事業費】
86,600千円

加納・茶所統合駅周辺 土地区画整理事業

(事業期間：令和4～20年度)

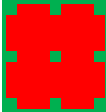
【令和6年度寄附対象事業費】
262,900千円



(都) 城南芋島線整備イメージ



加納・茶所統合駅周辺整備イメージ



岐阜公園再整備事業



【事業の目的】

岐阜公園は、清流長良川や緑豊かな金華山など、岐阜市固有の豊かな歴史・文化・自然に抱かれた本市を代表する総合公園であり、岐阜公園が持つ歴史的資産を最大限に活用するため、「信長公の鼓動が聞こえる歴史公園」をコンセプトに、本格的な歴史公園として再整備を進めています。

【事業の内容】

- ・ 信長公が活躍した戦国時代の歴史的価値の顕在化
- ・ 歴史的価値を学習するための施設整備
- ・ 近代の歴史的資源や自然と調和した都市公園としての整備

を基本方針として、

史跡岐阜城跡と連携した施設整備や

P a r k - P F I（民間活力の導入）による

店舗等の整備と**連携した施設整備**などを行います。



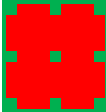
▶令和7年3月 P a r k - P F I による飲食物販施設などオープン予定

【寄附対象事業費】

86,200千円

【期間】

R6.4月～R7.3月



Gifu city

エンジン03 in 岐阜の開催



岐阜市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

【事業の目的】

様々な講座を通して、歴史・文化の新たな価値や魅力を発見することで、誘客の拡大、文化芸術活動の活発化を図り、さらには文化芸術の振興による地域の活力創出に結びつけます。



【事業の内容】

エンジン01文化戦略会議の会員のうち約30名がボランティア講師となり、岐阜市、大垣市、各務原市を会場として、趣向を凝らした講座やイベントなどを開催し、各分野の第一線で活躍する文化人・芸術家たちと地域の人々との「知の交流」を行うイベントです。

◆プログラム◆

(1) オープニング・シンポジウムの開催

開催日：R6年9月7日(土)

開催場所：県庁 ミナモホール

(2) 一般講座の開催

開催日：R6年9月8日(日)

開催場所：ぎふメディアコスモス、岐阜市民会館

(3) 夜楽（やがく）の開催

開催日：R6年9月7日(土)

開催場所：市内飲食店

※講師と参加者が飲食を共にして交流を深めるプログラム

【寄附対象事業費】

7,000千円

【イベント開催時期】

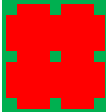
R6.9月7日(土)、8日(日)

R4年10月に開催された「エンジン01 in 岐阜」では、作家の林真理子さん、岐阜出身のアーティスト日比野克彦さんをはじめ、脳科学者の茂木健一郎さん、棋士の羽生善治さん、作詞家の秋元康さん、パティシエの鎧塚俊彦さんなど、約150名の講師による100を超える様々な講座が開催され、延べ1万人の方が講座に参加し、文化人との交流を楽しみました。

R5年9月に高山市で開催された「エンジン02」に続き、R6年度は、規模を縮小する形で、再び岐阜市で「エンジン03」が開催されます。

講座の詳細やチケットについては↓
詳細は：<https://www.city.gifu.lg.jp/kankoubunka/event/1005321/1026398.html>





Gifu city

ぎふアクションスポーツフェスティバル事業



岐阜市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

【事業の目的】

オリンピック競技大会で公式競技となるなど、注目を集めるアクションスポーツにいち早く取り組むことにより、日常的に運動を楽しむ市民の増加や交流人口の増加、市内観光の振興に繋げる。

【事業の内容】

◆「(仮称)ぎふアクションスポーツフェスティバル2024」の開催

開催期間：9月下旬の2日間

会場：みんなの広場 カオカオ
(みんなの森 ぎふメディアコスモス南側)

▶国内のパルクールのトップ選手によるエキシビジョンマッチ

▶複数のアクションスポーツの体験会

(パルクール、パルオニ、トランポリン、ボルダリング)

岐阜市及び市内関係団体、イベント事業者の参加による
実行委員会方式とし、連携を図りながら事業を実施する。



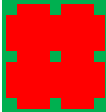
※令和5年開催時のプレミアカップ
昨年は2日間で約1万人の来場者

【寄附対象事業費】

5,000千円

【イベント開催時期】

R6.9月下旬



Gifu city

(仮称) ぎふeスポーツ交流会



岐阜市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

【事業の目的】

新たなスポーツの一つとして注目されているeスポーツのイベントを開催し、市民がeスポーツを気軽に体験し、魅力を感じてもらうことで、eスポーツの普及促進を図っていく。

【事業の内容】

◆ 「(仮称) ぎふeスポーツ交流会」の開催

開催期間：9月下旬の1日

会場：かんがえるスタジオ、おどるスタジオ
(みんなの森 ぎふメディアコスモス内)

▶ eスポーツ体験会

(リアルタイムバトル将棋、ぶよぶよeスポーツ)

▶ トーナメント

▶ デモンストレーション



「ぎふアクションスポーツフェスティバル」と同時開催することで、集客の相乗効果を図る。

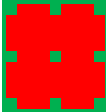
岐阜市及び市内関係団体、イベント事業者の参加による実行委員会方式とし、連携を図りながら事業を実施する。

【寄附対象事業費】

1,000千円

【イベント開催時期】

R6.9月下旬



【事業の目的】

令和7年度に、みんなの森 ぎふメディアコスモスが開館10周年の節目を迎えるにあたり、運営理念や将来ビジョンを市民と共有するためのコンセプトブックを作成するとともに、記念グッズとしてシンボリックなアイテムを作製し、メディアコスモスに対する市民の愛着をさらに高める。

【事業の内容】

- (1) コンセプトブックデザイン作成業務委託
 - ▶ メディアコスモスの理念や「将来ビジョン」を市民と共に考え、広く共有することを目的として、コンセプトブックを作成する。

- (2) 記念グッズ作製業務委託
 - ▶ メディアコスモスに対する市民の愛着をさらに高めるとともに、当館の認知度向上を図るためのグッズを作製する。

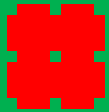


【イメージ】



【寄附対象事業費】 4,529千円

【期間】 R6.4月～R7.3月



Gifu city

SDGs推進事業



岐阜市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

【事業の目的】

人々が安心して暮らせるような「持続可能なまちづくり」のため、地方創生SDGsの推進により経済・社会・環境の三側面における統合的な課題解決を図り、暮らしの基盤の維持・再生につなげる。



【事業の内容】

(1) 岐阜市地方創生SDGs金融推進チームの運営

- ▶岐阜県の登録制度と連携し、SDGsに取り組んでいる事業者を「見える化」とするとともに、岐阜市独自の支援を充実させることにより地域の活性化を図る

(2) SDGsの行動につなげる取組

- ▶SDGsの取組を出前講座や各種イベント等で周知
⇒SDGsを自分ごとと捉え行動変容につなげる
- ▶官民連携によるシビックプライドとWell-beingに満ちた持続可能なまちづくりの推進



▲SDGs食とWell-being推進イベント

(3) 庁内推進体制の強化

- ▶全庁横断的な取組を推進
- ▶職場推進員の配置や職員研修の充実

【寄附対象事業費】

752千円

【期間】

R6.4月～R7.3月



Gifu city

移住・定住情報発信事業



岐阜市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

【事業の目的】

周辺市町を含めた視点で大都市圏への若者世代の流出に歯止めをかけ、移住定住を促進し、持続可能なまちをつくることを目的とする。



【事業の内容】

岐阜市の暮らしの魅力情報発信！

- ▶ 移住・定住情報発信拠点「ココカラ」(カラフルタウン岐阜1F)における情報発信
- ▶ ローカルキーマンの視点で岐阜の魅力を発掘
- ▶ 岐阜の魅力的な暮らしを感じられるイベントを実施
- ▶ 市民ライターによる記事を作成、発信
- ▶ 周辺市町と連携した情報発信
- ▶ 移住・定住情報発信サイト「ココカラweb」や、岐阜市公式SNSにおける情報発信



▲「ココカラ」



▲ココカラweb

【寄附対象事業費】 6,668千円

【期間】 R6.4月～R7.3月